



発行所 三池炭鉱労働組合 大牟田市入船町1番地 電話(53)3033-4 編集兼人 杉本一男 発行 杉本一男 半年間 1,200円 送料共 振替口座番号 芳金大牟田 0968946-005

公判のお知らせ 11・9三池大災害裁判公判 十月十四日午後一時から、福岡地方裁判所で(51回) 9・28坑内火災裁判公判 十月十七日午後一時から、同右裁判所で。(43回)

CO・遺族諸要求貫徹を めざす決起集会 とき 十月十二日(水) 午後五時 ところ 三池鉱山前 ※ 集会終了後、交渉メンバーと上京団を送り出します。

# 裁判勝利で責任追及

## 9・28坑内火災抗議集会開く



台風10号が福岡・熊本を通過した28日、雨こそ降らなかったが、風が強く肌寒い中で集会は開かれ、たたかいを誓い合った。

今年で十七回を迎えた九月二十八日、九・二八坑内火災抗議集会を三池鉱山前前で、一番方・第一組合員、主婦会員、原告団、弁護団代表、社・共産党代表、大牟田・荒尾地評代表などが参加して開きました。

集会は「炭掘る仲間」の全組合員に出席し、小島弁護士があいさつ(別項)。ついで組合代表として中原書記長があいさつに立ち、「CO協定のたたかい、秋季・年末闘争などのたたかい、さらには二十周年を迎える十一月九抗議集会と全国労災職業病防止全国集会とついで、全力をあげて取り組み、九・二八と十一月九裁判闘争の勝利をめざす」と述べました。

このあと、「がんばろう」を合唱、「団結旗」を三唱して災害責任の追及と裁判闘争の勝利を誓い合いました。

# 協定改訂のたたかいへ

## CO・遺族諸要求を集約 十三日から中央交渉

昭和三十八年十一月九日の三池の大災害から今年で二十周年を迎えます。この二十年間、「責任の追及」「生活の補償」「治療の確保」などを政府と三井資本に要求してCO闘争に取り組んできました。すでに二十年を経て、遺族やCO患者が高齢化し、死者や病弱者、CO後遺症による病状悪化、低賃金による生活困窮者などが続出し、抜本的な協定の改訂が求められています。

「責任の追及」は、この裁判闘争の中ですすめています。当面は三井側は、裁判では引き延ばし、十分ながら対会社との間で結ばれたCO・遺族協定に基づき、諸要求の貫徹を期して、その三年毎の改訂期に当たりますので、全力をあげてたたかいに取り組めます。

災害が起つてから十二年経ちました。上村裁判は、裁判を通じて会社に責任を認めさせる重要なたたかいです。これは三池の労働者だけでなく、全国の労働者の労災闘争をすすめる上で大きな意義を持つものであります。

CO患者の裁判は、この裁判記録を元にして会社側の責任を立証するといつものであり、責任関係はほぼ立証できました。

## 小島弁護士の報告 要旨

池炭組員からは「ガスがなかったからCO患者が証人を立てていますが、当時「ガスがない」という会社の主張は通るはずありません。公判は、さらに数人の証人があり、早く結審に持ち込みたいと考えています。

## 炭労大会開く

### 秋季・年末闘争などが議題

炭労第一〇四回定期大会は九月二十九日から二日間東京で開かれました。議題は秋季・年末闘争方針、石炭政策闘争方針、厚生年金改善反対闘争、全労協加盟など十二議案が討議されました。

荒地評事務局局長に 枕島博明さん 十月二十二日に開かれる荒尾地

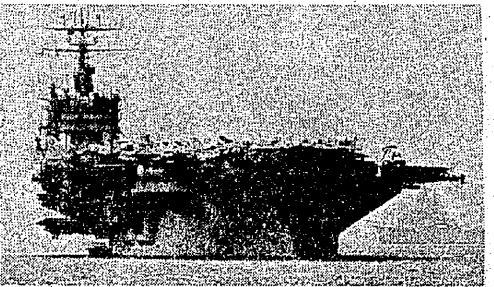
## 米最新鋭空母がなぜ日本に 反対運動高まる

佐世保 米原力核空母カールビンソン(八二、六〇〇トン)が十月一日から五日まで、長崎県佐世保港に寄港します。

カールビンソンは、ことし三月に就役した米海軍の最新鋭空母。F14トムキャット戦闘機、A7コルセア攻撃機、A6イントルダーク攻撃機など、核搭載可能機を含む艦載機九十機を積んでおり、日本寄港は初めてで、佐世保へはこの三月、十五年ぶりに寄港したエンタープライズに次ぐ核空母の寄港。佐世保がますます米国の対ソ戦略の拠点とされつつあることを示しています。

## 地底

沖繩を通り 抜けた十号台風は 北上するかに見え たが、進路を東に変え九州へ。台風一過、味覚の秋、スポーツの秋、読書の秋いろいろな呼び名をつけられる秋もいよいよ本番。大いに満喫したいが、さて……



核空母カールビンソン

「訂正」前号「機関構成」の中で生産委員、中村恒夫さんとあたるのは中村誠さんの誤りでした。